

# 新製品 Philips IntelliSite Pathology Solution (SG) と病理ワークフローのデジタル化

## Philips IntelliSite Pathology Solution (SG) for digital transformation in Pathology lab

中村 さゆり

株式会社フィリップス・ジャパン プレシジョン ダイアグノシス事業部 PD  
Solutions ビジネスマーケティング

Sayuri Nakamura

Pathology Solutions, PD Solutions, Precision Diagnosis Business Marketing & Sales, Philips Japan,  
Ltd.

=抄録=

疾患や治療方針の細分化に伴う検査数の増加や、病理診断を担う病理医の不足および地域格差が深刻な課題となっている今、単なるデジタル化ではない、業務変革を見据えたデジタルパソロジーの導入が重要となっている。そのためには、日常の多くの検体を取り扱うことを考慮したワークフローの検討や、移行に向けた実行計画の検討と実施が不可欠であり、フィリップスはその考えのもと、現場の先生やスタッフの皆さんと一緒にデジタル化に取り組むベンダーである。本年は、これまでのデジタルトランスフォーメーションの実績とノウハウをから生まれた新製品、Philips IntelliSite Pathology Solution (SG)を国内でも販売開始した。医療機器としての診断への活用はもちろん、病理システムとの密なシステム連携など従来から持ち合わせた強みに加えて、更なる画質の向上、使いやすさを追求して開発されたソリューションとなっている。新製品の特徴や事例の紹介を交えながら、今後目指す臨床病理のデジタル化について考える。